

# CNJ Speakers

Know (≠ No) More Cancer 私たちは、もっと伝えたい



No.  
04

Special Talk / 金哲彦 × 秋沢淳子

CNJ News / CNJ Report

2014 年 CancerNet Japan Concept

海外がん医療 TOPICS / 末梢神経障害について

# 走ることとは、生きること

生きていく喜びを実感



秋沢 淳子(あきさわ じゅんこ)

1991年慶応義塾大学法学部卒業。同年TBS入社、アナウンサー。TBSテレビ「はなまるマーケット」他、テレビ・ラジオの数々の番組でニュース・ナレーション等を担当。2000年SPUTNIK International Japan(スリランカ、ガーナで活動する国際協力・国際交流・国際教育支援団体)を立ち上げ、創設理事として支援を続ける他、2008年よりNPO法人グリーンバード赤坂支部リーダーを務めるなど、ボランティア活動をライフワークとしている。2011年東久邇宮文化褒章受賞。

NPO法人キャンサーネットジャパン(以下、CNJ)は、2014年も様々ながん疾患啓発キャンペーンに取り組んでまいります。大腸がん啓発月間の3月には、ブルーリボンキャラバン2014 in東京を予定。今回は、プロランニングコーチで大腸がん経験者の金哲彦さんとCNJセミナーに司会でご協力をいただいているTBSアナウンサーの秋沢淳子さんに、がん疾患啓発に関わる思いやマラソンの魅力について伺いました。

## 自分の健康を過信 ステージⅢの大腸がん



—お二人の関わりは？

秋沢 金さんは私が所属しているTBSマラソン部の名誉コーチです(笑)。

金 一緒にマラソンの合宿をしたり、イベントの手伝いをしてもらったり、今は近しい仲間という感じで、公私にわたるお付き合いをしています。

—金さんの病気が発覚した経緯は？

金 2006年42歳のときに大腸がんが見つかりました。以前から健康診断の便潜血検査で引っかかっていたものの、長くマラソンを続けてきて健康に自信があった

ので、3年以上放っていました。あるとき長野でハーフマラソンを走ったあと、帰りの新幹線で気分良くお酒を飲んでいたらトイレで大量の下血をして、大腸内視鏡検査を受けたところステージⅢの大腸がんが見つかりました。当時の私にとって、がんⅡ死でしたから、目の前が真っ白になりました。手術ではお腹を10cm以上切り、S字結腸の大半とリンパ節を切除しましたが、術後の痛みは相当なものでしたが、病気のことは周りに隠していたので仕事にすぐ復帰しました。

金 哲彦(きん てつひこ)

早稲田大学で競走部に所属。箱根駅伝では1年から4年連続で5区の「山上り」を担当し活躍。卒業後は実業団チームの選手、コーチ、監督を歴任。2002年にNPO法人「ニッポンランナーズ」を設立。現在は市民ランナーからオリンピック選手まで、幅広い層から指示を受けるプロランニングコーチである。また、マラソンや駅伝中継のテレビ解説者としてもおなじみの大腸がんサバイバー。著者に「走る意味〜命を救うランニング」(講談社現代新書)など、ランニングに関する著書は多数。



—今では病気を公表し、がん啓発に関わっていますがその思いは？

金 病気になるまで、がんは別世界の出来事だと思っていました。でも自分ががんになり、いろいろな勉強して思うのは、誰にでもなる可能性のある病気で、早期発見すれば怖くないということ。便潜血を放つて開腹手術が必要になった私のようになる人が少なくて済むようにと思っています。

—秋沢さんがC.N.J.にご協力くださるの？

秋沢 私はTBSラジオ「明日も元気」の中で、5年ほど健康コナーを担当しています。がんについて学ぶ機会も多いのですが、がんは決して別世界の悲劇ではなく、身近な出来事だと感じています。不治の病」というイメージがまだ

に残っています。金さんのように治療を終えて前向きに生きていく方はたくさんいます。そのためには、C.N.J.のセミナーのように情報提供がされる場で病気につ

## 走ることによって救われた気持ち 乗り越えた再発の不安

—術後マラソンを再開されたのは？

金 術後の痛みから走ることが考えられませんでした。術後2カ月ほど経ったとき、市民ランナーのコーチングをしていたら病気のことを知らない方から「金さん、一緒に走りましょう」と誘われたんです。なんだか断れなくて、すごくゆっくりですが5分くらい走ってみました。そしたら、それ

て学ぶことは大切ですし、ここにアナウンサーとして私が関わることで、さらに多くの方へ伝える力になるのであれば、喜んでお手伝いしたいと思っています。

がもうすごく気持ち良くて。走っているときの心臓の鼓動とか、血液の流れる感じとか、空気が体に入ってくる冷たさとか、着地したときの重力とか、五感が研ぎ澄まされる感覚を久しぶりに感じて、「これはやっぱり走らなきゃ」と思ったんです。そのときの感覚は、術後に口から物を食べられない日々が続く、ようやくスープを口にしたときの感動に近かったです。

—走ること変わったことは？

金 私はリンパ節に転移があり、医師から再発と転移の可能性があると聞いていました。術後は常に不安が付きまとい、がんになったことで気持ちも落ち込んでいましたが、走ることでも気持ちもどんどん変化していききました。がんになると、ネガティブなことをいろいろ考えってしまうのですが、走っている間は一切考えなくて済むのです。体がそう



いうモードになっただけなんです。考えない時間を得られたことは大きかったです。

—病気を公表しようと思ったのは？

金 手術から3年経った2009年の「つくばマラソン」で、フルマラソンを3時間以内に走り切る「サブスリー」を達成しました。3時間を切るのには難しいことなのですが、がんになっても達成できたことに自信が持て、今ならがんを公表しても、この記録が、自分は元気だということを証明してくれると思います。公表した後、マラソン大会に行く、「実は私も同じ病気です」と声をかけてくれる方がいます。そのときはかたい握手をして、一緒に走り切ろうと誓います。私にとって、走ることは、生きることなのです。

—秋沢さんもフルマラソンを4時間以内で完走する「サブフォー」を達成されていますね。マラソンを始めたきっかけは？

秋沢 40歳のときに番組の企画でアフリカのキリマンジャロに登ったのですが、40年間生きてきてあんなに辛いものはなかったほど過酷な登山でした。帰ってきて、キリマンジャロに登れたならマラソンもできるかなと思っただけで、最初は2kmも走れませんでした。最初は練習すると走れるようになって、楽しくてどんどんめり込んでいきました。

—マラソンの魅力は？

秋沢 私は山育ちで、幼少のころは男の子と一緒に山の中を駆け回り回っていたので、もともと走るの嫌いではありません



金 マラソンは自分が走らなくても、沿道で応援するだけで楽しい競技ですが、自分が走ってゴールしたときは、それはもうすごい達成感です。

秋沢 本当に、最高ですよ。

秋沢さんは、普段はどんな風にマラソンを？

秋沢 仕事の後やお休みの日を利用して、家の周りを週に3〜4回、月に100kmくらい走っています。普段生活をしていると、何となく起きて会社へ行つての繰り返しで、通勤途中も特に何に目を止めるでもなく歩いていますが、走っていると周りの景色がよく見えるし、いろんなことを感じられます。今日は空がきれいだなとか、空気が冷たいなとか、太陽がキラキラしているとか、木の良い香りがするとか。生きている喜びを実感できて嬉しいのです。走っていると、「あゝ気持ちいい、最高！」って思います。

金 走るスピードは、人間に情報が入ってくる調度よいスピードなんです。走る楽しさを知らない人は、もったいないですよ。

金 ーがんと闘っている方へメッセージを。金 がんは一生付き合っていく病気ですが、私は走ることで救われた部分がたくさんあります。皆さ

んにも、「病気かもしれないけれど、健康でもある」と思える何かを見つけてほしいと思います。私にとつてはそれが走ることでした。が、何でもいいのです。そうすると、下を向いた気持ちは克服できると思います。

秋沢 本当にそうだと思います。

病気の方だけではなくて皆さんに共通することだと思えますが、「自分はこれが好き」というものを持つことと素敵なことです。「明日もこれを楽しくやりたい」という思いが前向きになるきっかけになるはずです。

ーこれからやりたいことは？

金 セミナーにスポーツウェアとランニングシューズを持ってきてもらい、患者も家族も一緒にランニングしたいですね。外で体を動かす気持ちよさを体感するのはいいことです。

ーありがとうございます。お2人には今後もいろいろな形で協力をお願いできればと思います。

3月2日(日)には、東京医科大学 M&Dタワー 鈴木章夫記念講堂(東京都文京区)にて、ブルーリボンキャラバンin東京を開催します。詳細は決まり次第、ホームページで紹介していきます。

文／御船美絵 写真／伊禮太郎

## 金哲彦さん流

### マラソンを始める心得5カ条



その1 生活を規則正しく

その2 姿勢を正しく

その3 ランニングシューズを買う

その4 ウォーキングから始める

その5 マラソン大会にエントリーする

1日30分の早歩きを3週間ほど続ければ、10分くらい走れるようになります。そして30分くらい走れるようになったら大会にエントリーしてもOK。レースに出たら一気に世界が広がりますよ。

神奈川県との協働事業ピアサポート

# がん体験者によるピアサポート 患者同士だから分かり合えること

ピアサポートとは、同じ体験を持つ患者同士が支え合うこと。C N Jでは、平成22年から、神奈川県との協働事業により、「がん患者とその家族をサポートするための相談（ピアサポート）事業」に取り組んでいます。現在は、乳がん患者・ご家族を対象にした横浜労災病院、すべてのがん種の患者・ご家族を対象にした相模原協同病院、横須賀共済病院、

大和市立病院にて面談での相談、C N Jのサロン「ピアサポートよこはま」にて電話と面談での相談を行っています（下記参照）。

相談者からは、「家族や友人にも話せない不安を聞いてもらえて気持ちに楽になりました」「体験した者でしか分からない悩みを共有できてうれしかったです」などの声をいただいています。

相談者からは、「家族や友人にも話せない不安を聞いてもらえて気持ちに楽になりました」「体験した者でしか分からない悩みを共有できてうれしかったです」などの声をいただいています。



写真上／「ピアサポートよこはま」でのピアサポート風景。ゆっくり話ができる静かな空間です  
写真左下／「ピアサポートよこはま」のサポーターの皆さん  
写真右下／月に1回、C N Jスタッフとサポーターが集まり、よりよいピアサポートを目指してミーティングを行います

サポーターは、がん体験者であり、C N Jが実施する乳がん体験者コーディネーター（B E C）養成講座やがん情報ナビゲーター（C I N）養成講座を修了し、がんに対する一般の知識、科学的根拠のあるがん医療情報に関する知識、及び最新の医療情報にアクセスするスキルを持った方にお願ひしています。またサポーターは、ロールプレイや定期的なミーティングを通して、より良いピアサポートを行えるようスキルアップを目指しています。患者同士だからこそ、分かり合えることや支え合えることがたくさんあります。先輩がん患者が、自身の経験を生かして、相談者と同じ目線で寄り添いながら相談や悩みに答えています。

来年度は、助成最終年度となるので、今まで取り組んできたピアサポート事業を振り返り、成果を全国に発信していきます。さらに、神奈川県内のピアサポート普及を目指し、ピアサポートをすでに導入している病院や関心のある病院の担当者が横に繋がり、情報共有できる機会を作っていきたいと考えています。患者同士で支え合うピアサポートが、もっと広がることを目指しています。ピアサポートについては、左記でも詳しく紹介しています。  
<http://www.cancer.net.jp/peersupport>

ピアサポーター BEC8 期生  
高津千恵子さん



現在再発治療中です。患者さんの気持ちは痛いほど分かるので、何か力になれることがあるのではないかと思います。ピアサポートに参加しています。患者さんに寄り添える存在でありたいです。

ピアサポーター BEC6 期生  
森結夏さん



ピアサポートを行う時は、しっかり傾聴することを心がけています。同じ方から再度電話があったり、訪問していただくと、ピアサポートに満足してくださったのを感じてうれしいです。

ピアサポーター BEC1 期生  
武岡ひとみさん



一人で病氣と向き合い、悩んだり苦しんだりしている方にこそ、ピアサポートは必要だと思います。電話をかけたり、訪問するのは勇気が必要かと思いますが、ここには仲間がたくさんいますよ。

## がん体験者によるピアサポート

平成22年7月から、神奈川県との協働事業により、「がん患者とその家族をサポートするための相談（ピアサポート）」事業に取り組んでいます。

家族や職場にどう話したらいいの？  
再発への不安な気持ちを話してみようかな...  
がんと言われて不安な気持ちを誰かに聞いてもらいたい...

開催 場所 日時	横浜労災病院内（横浜市港北区小机町3211） <b>NEW</b>	火曜	10時30分～15時00分	面接相談（電話での相談は行っていません。）
	ピアサポートよこはま （横浜市神奈川区台町7-2ハイツ横浜715号）	水・金曜 水曜	10時00分～14時30分 17時00分～20時30分	電話相談および面接相談 電話：045-313-1331
	相模原協同病院内 （相模原市緑区橋本2-8-18）	第1・3水曜 第2・4土曜	10時00分～15時30分 9時00分～11時30分	面接相談（電話での相談は行っていません。）
	横須賀共済病院内（横須賀市米が浜通1-16）	木曜	10時00分～15時00分	面接相談（電話での相談は行っていません。）
	大和市立病院内（大和市深見西8-3-6）	金曜	10時00分～14時30分	面接相談（電話での相談は行っていません。）

※横浜労災病院でのピアサポートは乳がん体験者・ご家族の方が対象です。いずれも相談は無料です。

あなたの貴重な体験談を効果的に伝えて  
がん啓発に貢献しませんか

## がん体験者スピーカー養成講座

2012年に見直しがされた「がん対策推進基本計画」には、取り組むべき重点項目として、新たにがん就労の問題や、がん教育といった課題が加わりました。CNJでも、がんに対する国民のリテラシーを高め、がん患者がより生きやすい社会の実現に貢献するには、社会や子どもに「がん」を正しく伝え、がん患者が直面している問題やリアルな姿を知ってもらうことが重要との考えのもと、セミナーのプログラムに、

がん体験者の講演を盛り込んだり、中学校でのがんの授業に協力したり、などの取り組みをしてきました。

そこで、より多くの方にがん体験者の声を伝えるため、今年4月から「がん体験者スピーカー（以下CSS）養成講座」事業を始動します。この講座は、東京都域中小企業応援ファンドの助成を受けて構築しました。

全国どこでも、いつでも受講できるe-learning形式で、がん体験の伝え手として間違った情報を啓発しないよう、がんに関する基礎知識を学んでいきます。さらに、自身のがん体験をまとめ、効果的に伝えるポイントを学び、受講を終えると、がん体験を伝えるご自身の講演パッケージが完成する仕組みです。

合わせて、講座を修了した方をリスト化し、全国のがん啓発イベントや講

義などで、体験者講師を紹介してほしいなどのご要望にも応えられる体制を整えていく予定です。詳細は <http://www.cancernet.jp/training/speaker>。

講義	内容	講師	CNJからの提供物
1	CNJのミッション・ヴィジョン	がんサーネットジャパン 川上 祥子	講義資料 PDF
2	がんの基礎知識・がんという病気・治療概要	東京大学医学部呼吸器内科 後藤 悌	講義資料 PDF
3	がんの基礎知識の整理と注意点	がんサーネットジャパン 川上 祥子	講義資料 PDF、スライド
4	がん体験をまとめる①～がんになる前の自分、治療開始まで～	がんサーネットジャパン 川上 祥子	スライドテンプレート 2種類
5	がん体験をまとめる②～治療から今まで・まとめ～	がんサーネットジャパン 川上 祥子	
6	プレゼンテーションのコツ～伝わる話し方、構成～	ミテモ株式会社 三浦裕里佳	研修資料 PDF
7	体験を伝えるということ～企画目的に応じた「講演」とは～	先輩がん体験者講師にインタビュー	講義資料 PDF

## ティール&ホワイトリボンプロジェクト 大学生に向けた、動画による 子宮頸がん検診啓発の取り組み

子宮頸がん疾患啓発ティール&ホワイトリボンプロジェクト（以下、TWR）では、「デジタル・サイネージ」を活用し、大学生に向けて子宮頸がん検診の啓発を、2月14日（金）まで全国の大学内で実施しています。

「デジタル・サイネージ」は、例えば身近なところでは、JR東日本山手線車内のドア上の「トレイン・チャネル」や、病院の待合室に設置したモニターにワンポイント広告や情報が流されているもので、待ち時間に効果的に情報を伝えるツールとして、近年、活用され始めています。

動画は子宮頸がん検診を身近に感じてもらうように、大学生3名が婦人科を訪ねるストーリーに



今回の啓発は、この「タダコピー」サービスを立ち上げ、運営している大学生発ベンチャー企業の株式会社オーシャナイズと協働し、女子大学生に婦人科を身近に感じてもらう、検診への



タダコピーのコピー機に設置されているデジタル・サイネージ ※画像はイメージ

今井愛院長に検診の仕組みについて教わっている撮影風景

動画の撮影・取材は、CNJのアドバイザーボードとして、日頃よりご協力・ご指導いただいている社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター長の上坊敏子先生のご紹介により、麻布十番まなみクリニックの今井愛院長にご協力をいただきました。若い女性の心に訴え、行動変容に繋がることを期待しています。





冊子は HP からダウンロードできます。 <http://www.cancernet.jp/publish>

## 「もっと知ってほしい」シリーズ冊子 「すい臓がん」の冊子を発刊 「胆道がん」「臨床試験」も作成中

突然告げられる、がんという病。大きなショックの中、次々と検査が続ぎ、治療法の選択を迫られることになり。病気がとちと

と向き合うには、まずがんについての正しい知識を持つことが大切です。CNJでは、患者さんとご家族が納得して治療を選び、自分らしくがんに向き合えるように、日本イーライリリー株式会社、毎日放送(MBS)、アフラック、アボットジャパン株式会社、アメリカンホーム保険会社、日本ベクトン&ディッキンソン株式会社、サノフィ株式会社などの協賛を得て、患者さん・ご家族向けの冊子「もっと知ってほしい」シリーズを作成しています。

このたび、国立がん研究センター中央病院肝胆腫内科科長の奥坂拓志先生、東北大学 災害医療国際協力学 教授の江川新一先生にご監修(執筆)いただき、「すい臓がん」の冊子を発刊しました。

冊子は全国のがん診療連携拠点病院(397施設)へ発送し、患者相談支援室などに置いていただいています。病院で見かけた方は、ぜひご覧ください。さらに、「胆道がん」「大腸がん」「薬の開発と臨床試験」などの冊子も、現在作成中です。



冊子は病院の患者相談支援室などに設置していただいています

今後のより良い冊子の作成のため、皆さんからの冊子のご感想・ご要望も受け付けています。ぜひ冊子のご感想を左記のメールに寄せ下さい。

メール: [info@cancernet.jp](mailto:info@cancernet.jp)

## HER2ピアサポートサロン HER2陽性乳がん患者と家族が集う フェイスブックのコミュニティ

CNJでは昨年、「HER2陽性乳がん患者さんのための情報発信セミナー」を東京・名古屋・福岡・大阪の全国4カ所で開催しました。セミナー後にはピアサポートサロンを実施し、患者さんからは「同じ病気の方と初めてお話できて心強く思った」「心配な副作用について先輩患者さんに聞けて参考になった」など、多くの喜びの声をいただきました。

「HER2ピアサポートサロン」は、承認されたメンバーだけが見られるオンラインコミュニティです。多くの方々参加をお待ちしています。

そこで、もっと患者さんご家族がコミュニケーションを取れる場を提供し、また、顧問医師や薬剤師にご協力いただき、医学的な質問にもお答えできることを期待しています。



### 参加するには?

1. フェイスブックに登録  
<http://www.facebook.com/>
2. 検索ボックスに、「HER2ピアサポートサロン」管理人の名前「野中葉月」と入れる。
3. 「野中葉月」が出てきたら勤務先プロフィールに「キャンサーネットジャパン」と書いてあるか確認。確認できたら「友達になる」をクリック。このときに、「HER2ピアサポートサロン参加希望」とメッセージも送信。
4. 管理人に友達リクエストが送信され、管理人が承認したら、グループへ招待メールが届きます。お互いに投稿内容を見ることができ、参加完了。

Facebookは無料サイトであり、サイトを利用し続けるのに料金がかかることは決してありません。但し、Facebookポイントを購入して、ギフトを贈ったり、アプリケーションやゲームでアイテムを購入したりすることができます。また、携帯電話からFacebookを利用する際には、携帯電話会社が規定するデータ通信料金やテキスト料金がかかる場合があります。詳細は、<https://www.facebook.com/help/>

2013.10.5(Sat)  
in Kyoto Toji

# 幻想的な世界遺産・東寺で一夜限りの夢舞台

## AYA世代・小児がん啓発のロックライブ

小児がんやAYA世代（15〜29歳）と言われる若くして

がんと闘う若者を音楽・ロックを通して勇気づけ、彼らの希望につながる新治療の

開発支援を目的に、「樋口宗孝がん研究基金（MHF）」から生まれたロックチャリ

ティーライブ「Rock Beats Cancer FES」。第3弾「Rock Beats Cancer FES Vol.3

Acoustic Session supported by Lilly Oncology」が、10月5日、世界遺産である京都の真言宗総本山 東寺で開催されました。

このイベントの趣旨に賛同いただいた、影山ヒロノブさん、二井原実さん、井上俊次さん、大槻ケンヂさん、和嶋慎治さん、ROLLYさん、久宝留理子さん、都啓一さんなど、そうそうたるメンバーが集結。金堂や五重の塔がライトアップされ、荘厳な雰囲気包まれたステージで、一夜限り

のスペシャルライブが披露されました。

司会は、TBS「NEWS 23」のキャスター膳場貴子さんと、さらにスペシャルゲストとして、卵巣境界悪性腫瘍の治療を終えたタレントの麻

美ゆまさんにもご登場いただき、華やかな一夜となりました。ご本業師如來が見守

る中、お二人がステージで朗読された小児がん体験者の気持ちを描いた詩は、来場者の心へと静かに響き、涙を流

されています。また、今宵限りのスペシャルセッションが披露されました。ご自身も「る砲性リンパ腫」を経験された都啓一さんからの「皆さん元気に生きましよう」という力強いメッセージ、麻美ゆまさんからの「ご本尊と目を合わせたら、ニコツとしてくれたような気がしました。病気を経験したからこそ伝えられることがあると思います」という前向きメッセージが会場に届けられました。

来場者からは、「オープニングで、金堂の扉が開き、ライトアップされたその姿に鳥肌がたち感動しました」「神奈川県から参戦しました。父をがんで亡くし、今年13回忌を迎えるにあたってこのようなイベントに参加できて感謝しています」などの感想が寄せられました。

また当日は、関西の学生19名がボランティアで運営に

協力してくれました。学生からは「がんを経験した方と話を

する機会があり、今まで知らなかった病気についての理解が深まり、有意義な経験でした」「今病気を闘っている人たちに、私たちが少しでも元気を分けてあげたい！

そう思った一目でした」などの感想をいただきました。

当日の来場者からのご寄付は27万6668円（Tシャツの売り上げ8万2000円を含む）でした。また、プレイベントなどでご協力いただいた新京極商店街様に設置した募金箱への寄付金は1万7892円でした。これらは、小児・AYA世代のがん患者支援を行う団体への助成金とさせていただきます。このライブの趣旨にご賛同いただき、ご協力いただいたすべての関係者の皆様に御礼申し上げます。

次回の開催は決定次第、C

NJホームページで紹介。

最後は出演者全員がス





## AYA世代のがん体験者 4名(他2名介助者)を招待

先日は Rock Beats Cancer FES Vol.3 に招待して頂きありがとうございました。東寺でのライブということもありとても楽しみにしていたのですが、雨が降ることもなかったですし、とても楽しかったです!! リハーサルの時に聞こえていた歌で、すでに素敵なライブになるんだろうな~と思っていましたが、幻想的な舞台と様々なアーティストの方々の歌と演奏と詩の朗読やメッセージはすごく心に響いて、圧倒されるライブでした。カラーボールのお二人の歌と演奏は一番心に響いていて、がんに関わりのあるアーティストの方の思いやパワーが沢山伝わってくるライブで、今まで以上に前向きに頑張ろうと思えるようになったし、私自身ももっと小児がんや体験者のことを深く考えるきっかけをもらって、これから自分ができることで小児がん、体験者のことをもっと知ってもらえるように発信していきたいという気持ちにもなりました。最近までがんのことに何も関わりを持たないようにしていたので、AYA 世代のがん体験者という言葉も今回初めて知りました。そして、キャンサーネットジャパンをはじめ、他にもがん支援の団体があることも知ることができました。こうしたイベントに参加して、キャンサーネットジャパンの皆さま、FES の出演者の方々、ボランティアの方々、体験者の方々と繋がりが出来たことはとても貴重な経験になりました。

(急性リンパ性白血病 / 6歳で罹患・現在29歳)

※招待した小児がん体験者からの感想メッセージより

Rock Beats Cancer FES vol. 3 Acoustic Session supported by Lilly Oncology はがん体験者であるアーティストの参加やセッションなど新しい試みも！  
同じ境遇にある小児がん・若年性がんを経験した若者に大きな勇気を与えました



カラーボール 高橋和奈さん(胃がん)、坪内雄佑さん(ユーイング肉腫)『お話をいただいてから、うれしい反面、正直とても不安でしたが、「今がんと戦っている人に勇気や希望を少しでも与えられたら」と考え、一生懸命、練習をし、本番に挑みました。これもがんになってなかったらできなかった経験です。素敵な機会を与えてもらい、言葉では言い表せないくらい幸せでした。私たちが闘病中に見たかった“がんを克服して、夢を持って活躍している人”を目指して、これからもがんばります!』



遠山麻蘭さん(悪性リンパ腫) ※影山ヒロノブさんとセッション『大先輩の皆様とご一緒させていただくという、貴重で素晴らしい経験をさせて頂きました。こんな日が来ることは、病気になった頃はおろか、1年前でも想像していませんでした。病気が分かり治療に踏み切れずにいたころにお参りした東寺の、しかも薬師如来像の前で歌わせていただいたこと、一生忘れないと思います。ご縁をいただきありがとうございました!』

# Over Cancer Together ～がんを共にのりこえよう～

## キャンサー・サバイバー・フォーラム

### 12月7日に開催しました

12月7日に秋葉原UDXシアター（千代田区外神田）にて、キャンサー・サバイバー・フォーラム（運営団体／NPO法人日本医療政策機構、NPO法人キャンサーネットジャパン、Japan for LIVESTRONG）が開催され、167名が来場されました。当日は、キャンサーサバイバー10名が、ご自身の体験をスピーチ。会場には患者・ご家族をはじめ、医療者、メディア、公的機関の方々も来場され、がんについて考える一日となりました。



がんを共にのりこえよう

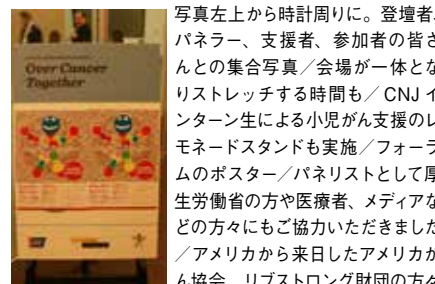
「がん患者を含む国民が、がんを知り、がん向き合い、がんに向き合える社会」の実現を目指した「Over Cancer Together キャンペーン」が、アメリカがん協会とリブストロング財団の支援を受け、約1年間かけて取り組んできた「キャンサー・サバイバー・フォーラム」が、南アフリカ、メキシコに続き、昨年12月7日に日本で開催されました。

「がんを体験した人が充実した人生を送ってほしい。そのために支援していきま」と言う国立がん研究センター理事長の堀田知光さん、日本医療政策機構の宮田俊男さんの開会挨拶でフォーラムはスタート。サバイバーが声を上げることで多くの人にがんを伝え、課題を明らかにし、それに対して社会全体で取り組むことを目指して実施しました。

当日は、「がんと自分の周りのコミュニケーション〜家族・職場のこと〜」「がんと自分〜病気・治療・生活のこと〜」「がんと社会〜がんの社会イメージとのギャップ〜」のテーマごとに、全国から集まったがん患者や遺族がそれぞれの立場から体験談をスピーチ。大勢の前で体験談を話すのは初めてというサバイバーがほとんどでしたが、「職場でサバイバーを特別扱いしないでほしい」「希少がんの情報を増やしてほしい」「障害を持つがん患者へ思いやりを」「サバイバーがあらのままの自分で生きられる社会に」「がんの偏見や誤解をなくしたい」など、ご自身の体験をもとにした課題や願い、メッセージが会場に投げかけられ、多くの来場者の心を動かしました。

また、聖路加国際病院乳癌外科部長 プレストセーター長 山内英子先生、国立がん研究センターがん対策情報センターセンター長の若尾文彦先生、千葉大学大学院看護学研究科特任研究員の土屋雅子先生による講演や、厚生労働省、メディア、医療者など各界のパネリストを交えたパネルディスカッションもあり、いろいろな立場からがんを考える機会となりました。

最後は、サバイバーの声をともに、OCT宣言2013『がんを知って、がんの偏見をなくそう』が掲げられ、厚



写真左上から時計周りに。登壇者、パネラー、支援者、参加者の皆さんとの集合写真/会場が一体となりストレッチする時間も/CNJインターン生による小児がん支援のレモネードスタンドも実施/フォーラムのポスター/パネリストとして厚生労働省の方や医療者、メディアなどの方々にもご協力いただきました/アメリカから来日したアメリカがん協会、リブストロング財団の方々



## サバイバー10名が 体験談をスピーチ

左上から時計周り/麻美ゆまさん(境界悪性腫瘍経験者、タレント)、清水敏明さん(舌がん経験者)、浪瀬耕造さん(遺族)、皆川明子さん(乳がん経験者)、岸田徹さん(胎児性がん経験者)、鈴木美穂さん(乳がん経験者、日本テレビ記者)、久田邦博さん(慢性骨髄性白血病経験者)、足立伸吾さん(大腸がん経験者)、竹本治さん(悪性リンパ腫経験者、神奈川県政策局参事監)、宗像若菜さん(軟部肉腫経験者)



生労働省、日本対がん協会、医療者、メディア、企業の方々から、今後に向けた約束も交わされました。

来場者からは、「がんの体験を伝えることの重要さに気付きました。これから自分も声を上げていきたいです」(患者/20代男性)、「いろいろと勉強になり、とても有意義な時間が過ごせました」(患者/50代女性)などの感想をいただきました。

CNJでは、がんの偏見のない世の中にするため、今後あらゆる情報を発信し、立場を超えてつながっていく活動を行っていきます。

レモネードスタンドを実施  
今回は1月15日(水)のセミナー  
当日は小児がん支援のための「レモネードスタンド」も開催。多くの方にレモネードを飲んでいただき、3万9000円のご寄付をいただきました。次回のレモネードスタンドは、1月15日(水)午後7時30分、「アピタルがん夜間学校 もっと知ってほしい がんと小児・AYA世代のこと」(秋葉原UDX4階UDXシアター)で開催します。



各セッションでは、ご講演いただいた聖路加国際病院 乳腺外科部長 プレストセンター長 山内英子先生、国立がん研究センター がん対策情報センター センター長 尾文彦先生、千葉大学大学院 看護学研究所 特任研究員 土屋雅子先生とゲストスピーカーの皆さん、パネリストの皆さんとのパネルディスカッションも行いました

2013年  
59本  
開催

# セミナー・イベント

# 4717名

の方にご参加いただきました。

CNJのミッションは、がん患者がその人らしく治療を選択できるよう科学的根拠のある情報発信を行うこと。2013年は全国各地で59本のセミナーを開催し、4717名の方にご参加いただきました。ご来場いただきました皆様、ご支援いただきました皆様にこの場をかりて御礼申し上げます。

1	もっと知ってほしい胃がんのこと in 横浜	1月12日(土)	神奈川
2	apital がん夜間学校 肝臓がん：ホントのこと	1月16日(水)	東京
3	UDX オープンカレッジ もっと知ってほしい「子宮頸がん」のこと	1月19日(土)	東京
4	MBS X CNJ Jump Over Cancer もっと知ってほしいがんのこと～子宮頸がん～	1月22日(火)	大阪
5	UDX オープンカレッジ もっと知ってほしい「胆管がん・胆のうがん」のこと	2月16日(土)	東京
6	ブルーリボンキャラバン in 静岡 - もっと知ってほしい「大腸がん」のこと -	2月16日(土)	静岡
7	apital がん夜間学校 抗がん剤の副作用対策	2月20日(水)	東京
8	apital がん夜間学校特別授業 もっと知ってほしい前立腺がんのこと in 東京	3月2日(土)	東京
9	UDX オープンカレッジ もっと知ってほしい「腎がん」のこと	3月16日(土)	東京
10	apital がん夜間学校 大腸がん：ホントのこと	3月20日(水)	東京
11	もっと知ってほしい「急性骨髄性白血病」のこと	3月22日(金)	東京
12	MBS X CNJ Jump Over Cancer もっと知ってほしいがんのこと～大腸がん～	3月26日(火)	大阪
13	ブルーリボンキャラバン in 東京 - もっと知ってほしい「大腸がん」のこと -	3月29日(金)	東京
14	肺がん疾患治療啓発キャンペーン もっと知ってほしい肺がんのこと in 福岡	4月13日(土)	福岡
15	もっと知ってほしい「慢性骨髄増殖性疾患」のこと	4月19日(金)	東京
16	UDX オープンカレッジ もっと知ってほしい「頭頸部がん」のこと	4月20日(土)	東京
17	もっと知ってほしい「前立腺がん」のこと in 青森 ～知っていれば、こわくない～	4月20日(土)	青森
18	MBS × CNJ Jump Over Cancer もっと知ってほしいがんのこと～悪性リンパ腫～	4月23日(火)	大阪
19	もっと知ってほしい「急性リンパ性白血病 (ALL)」のこと	5月9日(木)	東京
20	UDX オープンカレッジ もっと知ってほしい「皮膚がん」のこと	5月18日(土)	東京
21	UDX オープンカレッジ もっと知ってほしい「骨軟部腫瘍」のこと	6月15日(土)	東京
22	ブルーリボンキャラバン in 仙台 - もっと知ってほしい「大腸がん」のこと -	6月27日(木)	宮城
23	NPOと企業の協働・CSVを考える ～がん啓発に取り組むNPO キャンサーネットジャパンの活動事例から～	7月5日(金)	東京
24	もっと知ってほしい「慢性骨髄性白血病 (CML)」のこと	7月9日(火)	東京
25	もっと知ってほしい「造血幹細胞移植」のこと	7月12日(金)	東京
26	第4回フォローアップ総会 ～がん情報ナビゲーター・乳がん体験者コーディネーター認定者活動報告会&特別講演～	7月20日(土)	東京
27	UDX オープンカレッジ もっと知ってほしい「膀胱がん」のこと	7月20日(土)	東京



# Special Thanks



28	肺がん疾患治療啓発キャンペーン もっと知ってほしい肺がんのこと in 東京	7月27日(土)	東京
29	アピタル乳がん夜間学校 特別授業 HER2 Station ~ HER2 陽性乳がん患者さんに対する情報発信セミナー in 東京	7月28日(日)	東京
30	もっと知ってほしい「小児の血液のがん」のこと	7月29日(月)	東京
31	HER2 Station ~ HER2 陽性乳がん患者さんのための情報発信セミナー in 名古屋	8月17日(土)	愛知
32	UDX オープンカレッジ もっと知ってほしい「甲状腺がん」のこと	8月17日(土)	東京
33	もっと知ってほしい「骨髄異形成症候群 (MDS)」のこと	8月23日(金)	東京
34	Over Cancer Together がんを共にのりこえよう サバイバー・スピーキング セミナー	8月24日(土)	東京
35	MBS × CNJ Jump Over Cancer もっと知ってほしいがんのこと~前立腺がん~	9月3日(火)	大阪
36	もっと知ってほしい「小児がん」のこと in 福岡	9月6日(金)	福岡
37	もっと知ってほしい「肺がん」のこと ~肺がんにかかっても「自分らしく」過ごすために~	9月7日(土)	神奈川
38	HER2 Station ~ HER2 陽性乳がん患者さんのための情報発信セミナー in 福岡	9月8日(日)	福岡
39	ブルーリボンキャラバン in 大阪 - もっと知ってほしい「大腸がん」のこと -	9月12日(木)	大阪
40	UDX オープンカレッジ もっと知ってほしい「子宮体がん」のこと	9月21日(土)	東京
41	肺がん疾患治療啓発キャンペーン もっと知ってほしい肺がんのこと in 札幌	9月23日(月)	北海道
42	もっと知ってほしい、前立腺がんのこと in 大阪 ~知っていれば、こわくない~	9月25日(水)	大阪
43	もっと知ってほしい「思春期小児と若年成人 (AYA) 世代の血液のがん」のこと	9月30日(月)	東京
44	肺がん疾患治療啓発キャンペーン もっと知ってほしい肺がんのこと in 和歌山	10月12日(土)	和歌山
45	UDX オープンカレッジ もっと知ってほしい「卵巣がん」のこと	10月19日(土)	東京
46	MBS × CNJ Jump Over Cancer もっと知ってほしいがんのこと~肝臓がん~	10月22日(火)	大阪
47	もっと知ってほしい乳がんのこと in 大阪 ~もっと知りたい私の乳がん~	10月27日(日)	大阪
48	肺がん疾患治療啓発キャンペーン もっと知ってほしい肺がんのこと in 大阪	11月3日(日)	大阪
49	もっと知ってほしい「悪性リンパ腫 (ホジキンリンパ腫)」のこと	11月8日(金)	東京
50	UDX オープンカレッジ もっと知ってほしい「精巣腫瘍」のこと	11月16日(土)	東京
51	HER2 Station ~ HER2 陽性乳がん患者さんのための情報発信セミナー in 大阪	11月17日(日)	大阪
52	もっと知ってほしい「多発性骨髄腫」のこと	11月22日(金)	東京
53	もっと知ってほしい「がんと漢方薬」のこと	11月24日(日)	東京
54	MBS × CNJ Jump Over Cancer もっと知ってほしいがんのこと~胃がん~	11月26日(火)	大阪
55	もっと知ってほしい「成人T細胞白血病/リンパ腫 (ATL)」のこと	11月29日(金)	東京
56	ブルーリボンキャラバン in 広島 - もっと知ってほしい「大腸がん」のこと -	12月5日(木)	広島
57	キャンサー・サバイバー・フォーラム	12月7日(土)	東京
58	もっと知ってほしい「悪性リンパ腫 (非ホジキンリンパ腫)」のこと	12月13日(金)	東京
59	UDX オープンカレッジ もっと知ってほしい「食道がん」のこと	12月21日(土)	東京

※ロックチャリティライブ、レモネードスタンド、マラソンイベントを除く



# 2014

# CancerNet Japan Concept

NPO 法人キャンサーネットジャパン (CNJ) は、2013年、ほとんど毎週全国のどこかで何らかのイベント・セミナーを開催し、またセミナーを中心にした動画コンテンツ累計は800本、開設以来、コンテンツは70万回を超える再生数に及びました。各種イベント・セミナーにご参加いただいた皆様、各種プログラムをご利用いただいた皆様、そのご理解とご支援に心より御礼申し上げます。

2014年も昨年同様、全国各地でのイベント・セミナーの開催、インターネットを中心にしたがん医療情報の配信に加え、昨年から始めた小児がん疾患啓発・研究支援を目的とした Rock Charity Live や、レモネードスタンドなどにも力を注いでまいります。

Alliance for Lung Cancer

## 第55回日本肺癌学会学術集会

2014年11月に開催される第55回日本肺癌学会学術集会(肺がん医療向上委員会)。一般の方への「肺がん疾患啓発」、「近年の治療法の進歩」など、広く知っていただくため、様々な方々と連携し、SNSなどを中心に広報活動に関与します。



もっと知ってほしい肺がんのこと

## パールリボンキャラバン

2014年も、肺がんに関心した患者さん・ご家族にとって有益で、希望の持てるセミナーを開催していきます。また、肺癌学会や各種団体とも連携し、より正確で、信頼性の高い情報発信を目的に、様々な新しい取り組みにも挑戦します。



UDX オープンカレッジ

## アピタルがん夜間学校

UDXがん医療セミナーは、新たに朝日新聞医療サイト・アピタルに参画いただき、「アピタルがん夜間学校」として生まれ変わりました。  
■第1回「がんと小児・AYA世代のこと」  
日時/1月15日(水) 19:30~  
場所/秋葉原UDX4階UDXシアター  
基調講演/チャイルド・ケモ・クリニック  
院長 楠木重範先生



もっと知ってほしい胃がんのこと

## ペリウィンクルリボンキャラバン

日本人で最も罹患率が多い「胃がん」ですが、CNJではこれまであまり多く取り上げることがなかった疾患です。近年、薬物療法の進歩もめざましく、その治療法はどんどん進んでいます。患者にとって有益な情報を届けるセミナーを2014年下半期に開催予定です。



もっと知ってほしい大腸がんのこと

## ブルーリボンキャラバン

大腸がん疾患啓発キャンペーンは3年を経過し、大腸がん患者さん、大腸がんの医療を専門とする皆様の認知も進み、いよいよ次のステップに入る準備ができました。2014年は新しいコンテンツをスタートさせ、パワーアップしていきます。



MBS Jump Over Cancer

## MBS × CNJ

MBS × CNJ on the WEBの形でこれまで18回のセミナーと映像配信を実施しました。今年はMBS社屋の改装もあり、2014年4月から、開催場所もテーマも一新し、より多くの皆様にご参加いただけるプログラムを提供します。



HER2 陽性乳がん患者さんのための情報発信セミナー

## HER2 Station

HER2タンパク陽性乳がんに特化したセミナーは、2013年の最もチャレンジングなプログラムでした。しかし、私たちの予想を超え、たくさんの患者さん・ご家族にご参加いただきました。参加者の声に答え、2014年も継続して開催します。



ロックチャリティーライブ

## Rock Beats Cancer

2013年から始めた、Rockを通じて小児・AYA世代(15~29歳)のがん患者の疾患啓発と患者支援を目的としたRock Beats Cancer FES。昨年は100万円近い外部支援を行いました。海外のようなムーブメントになるように、多くのアーティストの協力を得てがんばります!



最先端のがん医療セミナー

## CNJがん医療 on the Edge

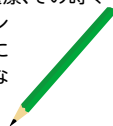
言葉の通り、日々進化するがん医療の最先端の情報を取りまとめ提供するセミナーです。講師は、各領域を代表するエキスパート。ここに参加すれば、各領域のここ1年の進歩がわかります。  
Please Save the Date  
8月9日(土) 秋葉原UDX



Cancer Training Program

## CIN・BEC 養成講座

今年10期目を迎えるCIN・BEC養成講座。これまでたくさんの方々に受講していただきました。日々進歩を続けるがん医療、その時々情報を学べる講座として、コンテンツ内容を見直し、がん医療に関わる様々な皆様にとって有益なプログラムにします。



信頼できるがん医療情報

## Cancer Channel

開設以降3年が経過して、動画コンテンツは800本に及び、総再生回数も70万回を超えるにいたりしました。本サイトは厳しい国際機関の認証を得ており、信頼できる動画コンテンツを中心にしたがん医療情報ポータルサイトとして、今後も充実を図っていきます。



小児がんを支援

## レモネードスタンドジャパン

米国の1人の神経芽細胞種の女の子(アレックスちゃん)が始めた、小児がん研究支援のためのレモネードを配ることによるファンディング活動。日本でも全国各地の皆様のご協力、また病院での開催協力も得ながら進めていきます。



がん患者がしばしば経験する末梢神経障害は、がん治療とその後の生活の中で、いつ発症するかわかりません。神経障害のリスクが高いがんのタイプには、肺、乳房、卵巣、骨髄腫、リンパ腫とホジキン病、精巣などがあります。また高齢、糖尿病や甲状腺機能異常、アルコール過剰摂取、栄養不良などでも発症リスクが高くなります。

一般的に末梢神経障害には、チクチクする手足のしびれ感、疼痛や手、足のふくらはぎの痙攣、接触や温度に対する過敏性、反射の喪失、足や手の脱力感、平衡感覚の喪失、性機能障害などがあります。末梢神経は治癒力に優れていますが、放射線や化学療法による神経障害の回復には、数年単位の長期間を要するのが一般的です。症状が軽くなっても、完全には回復しない場合もあります。神経障害の症状がおきたら、できるだけ早く医療チームに相談することが重要です。

末梢神経の治療や、化学療法にかかわる神経障害の発症や重症化予防では、臨床試験により一部の薬物治療の有効性が示されています。医療チームにアドバイスを求めましょう。またがんサバイバー向けに神経障害に関するサポートグループがないか問い合わせてみましょう。

神経障害の  
リスクが  
高くなる  
薬剤

- 白金化合物
- タキサン系
- ビンカ・アルカロイド
- サリドマイド
- ボルテゾミブ
- シトシン・アラビノサイド
- ミノダゾール
- インターフェロン

化学療法と関連する神経障害では、  
治療は対処療法が中心となり、  
症状緩和や機能の改善を目的とした  
治療計画がたてられます。  
また、回復には右記のことが役立ちます

- チアミンやタンパク質、抗酸化物質を豊富に含む食品など適切な栄養の摂取
- 糖尿病や甲状腺機能低下症などの疾患がある場合は、その管理と改善
- 適切な鎮痛剤の活用
- 理学療法や作業療法の活用

情報提供 / LIVESTRONG.COM、海外癌医療情報リファレンス ※ LIVESTRONG.COM は、リブストロング財団の公式サイトです

本誌の感想、CNJに期待すること、  
今後開催してほしいセミナー、  
参加されたセミナーの感想など、  
皆さまからのお便りを募集しています

お便りは、ハガキとメールで受付中！  
E-mail: info@cancernet.jp  
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2 階  
[NPO 法人がんネットワークジャパン読者の声係]宛て



CNJ Speakers 季刊誌 2014 年 January

発行日 / 2014 年 1 月

編集発行 / NPO 法人がんネットワークジャパン

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2 階

電話 / 03-5840-6072 FAX / 03-5840-6073

E-mail: info@cancernet.jp

ホームページ: http://www.cancernet.jp

次号  
予告 CNJ Speakers 4 号は  
2014 年 4 月発刊です

特定非営利活動法人がんネットワークジャパン理事

川上 祥子



皆様、旧年中は CNJ の活動へのご理解・ご支援をありがとうございました。お陰様で、昨年 1 年間で、59 回のセミナーを開催することができました。昨年、新たに肺がん疾患啓発のキャラバン、HER2 陽性乳がん特化した「HER2 ステーション」、「血液がん」等の新しいプロジェクトもスタートすることができました。

今年、参加された皆様から寄せられた「もっと知りたい」というご要望に応えるべく、疾患ベースのセミナーに加え、「がんと栄養」「がんと運動」といった、生活の場面でがん向き合う際に生じる、どのがんにも共通するテーマも取り上げていきますのでご期待ください。また、8 月 9 日（土）には、秋葉原 UDX にて、がん各領域における近年のアップデート情報をまとめてお届けするプログラムも準備中です。これからも時代とニーズの変化に伴い、チャレンジを続けていきますので、引き続きご支援をよろしく願います。

## 新年のご挨拶

Pick Up!

がん情報ステーション

東京・大阪のがん情報ステーションでは、がん体験者や CNJ プロフェッショナルボランティアによる、患者・家族向けのプログラムを実施中です。

## がん体験者向けアロマセラピー講座（東京）

対象者 / 基本的にはがん体験者  
ただし、家族・医療従事者も可

月ごとに異なるアロマクラフト作りは、みんなでおしゃべりしながら自分の好きな香りを選ぶことができ、楽しい時間を過ごしていただけます。

場所 / がん情報ステーション東京

実施日 / 毎月第 3 土曜（要予約）

13:00 ~ 15:00

参加費 / 会員 ¥1,500 / 一般 ¥2,000

1 月 18 日 アロマの基材 / アロマスプレー

2 月 15 日 においの認識ルート / 発砲バスボム

3 月 15 日 アンチエイジング / アロマパック



ほかにもいろいろ開催中! <http://www.cancernet.jp/station> (各申し込みや詳細などもコチラから)



映像ネットワーク

遠隔診断システム ビデオ会議システム  
音声会議システム  
ネットワーク構築 4K コーデック

http://www.ntt-at.co.jp/

“Integrated-Value Provider”  
NTTアドバンステクノロジー株式会社

NPO 法人がんセンターネットジャパン

女性用 男性用 子ども用

医療用かつらデイリース

部分用



最短1日からレンタルOK! 私たちは、レンタル派。

全て新品 高品質医療用ウィッグを  
1日250円(税別) 必要な期間だけレンタル

お問合せ・ご予約

0120-83-2081 AM10:00~PM6:00

http://www.cancernet.jp/wig

アピタルがん夜間学校シリーズ  
がん夜間学校

apital 朝日新聞の医療サイト

毎月第3水曜日、夜7時半から秋葉原UDXにて開催!



1月15日(水)「もっと知ってほしい がんと小児・AYA世代のこと」

2月19日(水)「もっと知ってほしい がんと骨転移のこと」

3月19日(水)「もっと知ってほしい がんと美容のこと」

参加費無料

駅から3分秋葉原UDXで開催

http://www.cancernet.jp/event/apitalcancer

JACK DANIEL'S  
MUROCK

Dining Bar 946

tel 03 3770 5800

〒150-0043 渋谷区道玄坂1-20-2 オリエンタル道玄坂安達ビル B1

OPEN MONDAY - FRIDAY 18:00 - 24:00  
CLOSE SATURDAY, SUNDAY, HOLIDAY



美恵ママ・乳がん基金

美恵ママ・乳がん基金は  
チャイルド・ライフ・スペシャリスト  
育成・普及のため、皆様から  
のご支援をお待ちしております。

チャイルド・ライフ・スペシャリスト (CLS) とは、  
病氣 (小児がん等) の子どもと家族を精神的にサポートする専門家のことを言います。

詳しくは、特設サイトにてご確認ください。

https://bokinchan2.com/cnj/miemama/bokin/page0.php



樋口宗孝がん研究基金

Munetaka Higuchi Foundation  
for Cancer Awareness and Research

樋口宗孝がん研究基金は、2008年11月30日、肝細胞がんで逝去した  
日本のハードロック界を代表する LOUDNESS (ラウドネス) のドラマーであっ  
た樋口宗孝氏の偉業を後世に伝え、日本におけるがん疾患啓発・がん研  
究を推進するために設立されました。

http://www.cancernet.jp/mhf4car

このスペースに  
広告を掲載しませんか?

※広告の掲載のお申し込みは、以下の発刊月の1ヶ月前までにお願ひ致します。  
4月・7月・10月・1月の年4回発刊します。

※広告の掲載スペースにより金額が変わります。詳しくはお問ひ合わせ下さい。

NPO 法人がんセンターネットジャパン 季刊誌広告係まで / info@cancernet.jp

CancerChannel



患者・家族・支援者・医療者のための  
新しいがん医療情報のカタチ。

サイトの閲覧はすべて 無料

がん医療セミナーやがん医療情報の映像を web\* から配信。  
スマートフォンやタブレットからも閲覧できます。(\*Ustream・Youtube  
mediasite)

※スマートフォンやタブレットからのUstream、Youtube閲覧には専用のアプリのインストールが必要です。

http://www.cancerchannel.jp

寄付のお願い



NPO 法人がんセンターネットジャパンが、患者、家族のみならず提供するセミナー、冊子などは  
私たちの活動の趣旨に賛同いただく企業、個人の方々の支援に支えられています。NPO 法人の  
ミッションとして、罹患者の多いがんだけでなく、情報が少なく、財源の確保が難しい小児が  
んなど稀少がんと言われる領域においても情報を提供してきました。今後も継続的にこれらのコ  
ンテンツを提供するために、多くのおみなさまのご支援、ご寄付を何卒よろしくお願い申し上げます。

寄付については、こちらをご覧ください → http://www.cancernet.jp/donation

お問い合わせ

NPO 法人がんセンターネットジャパン

電話：03-5840-6072 (平日10時~17時)

〒113-0034 東京都文京区湯島1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2F

ファックス：03-5840-6073 メールアドレス：info@cancernet.jp